

平成26年2月28日  
水産庁

## 水産物の市況について（平成26年2月及び3月）

—東京都中央卸売市場における平成26年2月（平成26年1月21日～2月20日集計）の市況と、  
平成26年3月の市況見通し（前月との比較）—

### I 平成26年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は弱含みに推移しました。

### II 平成26年3月の主要品目の市況見通し

#### 「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は、犬吠埼沿岸）

#### 「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は冷凍原料、製品ともに前月並みと見込まれるものの、需要があることから卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

#### 「さば（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（三陸中南部沿岸、鹿島灘から犬吠埼沿岸、駿河湾から伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域）

#### 「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

日本海近海は徐々に終漁しつつあり、入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

#### 「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、需要があることから卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

#### 「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は赤身類、脂身類ともに前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要が出てくることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

#### 「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、卸売価格は初物需要からやや強含みに推移すると見込まれます。

#### 凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)  
(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
26年	40	866	42	1,049	50	984
前年	48	774	47	944	52	894

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。  
注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	738	163	203	188
さけ・ます(平均)	916	116	180	155
(ぎんざけ塩蔵品)	753	100	143	120
(あきさけ塩蔵品)	563	92	133	136
(ときさけ塩蔵品)	962	105	164	136
(べにざけ塩蔵品)	1,050	100	150	125
(さけ類冷凍品)	942	124	197	170
さば(生鮮品)	459	108	117	117
するめいか(平均)	493	113	123	122
(生鮮品)	488	119	120	114
(冷凍品)	505	100	132	148
あじ(生鮮品)	680	93	123	141
まぐろ(冷凍品)	1,534	132	133	115
(めばち冷凍品)	856	98	104	89
(きはだ冷凍品)	724	98	95	84
(くろまぐろ冷凍品)	3,150	100	90	95
(みなみまぐろ冷凍品)	1,705	99	77	81
かつお(生鮮品)	772	51	146	96

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:2月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成21年~25年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班  
代表 03-3502-8111  
内線 6617 岡野、庄田  
直通 03-3591-5612